

乗合タクシーの利用状況等について

利用実績「上地区乗合自動車」

年度	日数 (日)	湯の沢線			みくるべ線 ※令和5年度10月以降は、 循環線（みくるべ経由）			柳川・八沢線 ※令和5年度10月以降は、 循環線（八沢柳川経由）			合 計		
		利用者数 (人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)	利用者数 (人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)	利用者数 (人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)	利用者数 (人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)
平成27年度	243	12,068	3,888	3.10	7,799	2,187	3.57	4,826	1,701	2.84	24,693	7,776	3.18
令和元年度	240	12,262	3,840	3.19	4,847	2,160	2.24	3,963	1,680	2.36	21,072	7,680	2.74
令和 2 年度	243	9,195	3,888	2.36	2,800	2,187	1.28	3,122	1,701	1.84	15,117	7,776	1.94
令和 3 年度	242	10,126	3,872	2.62	4,322	2,178	1.98	2,834	1,694	1.67	17,282	7,776	2.23
令和 4 年度	243	10,246	3,888	2.64	4,457	2,187	2.04	2,866	1,701	1.68	17,569	7,744	2.26
令和 5 年度	243	10,059	3,888	2.59	4,771	2,068	2.31	4,787	2,058	2.33	19,617	8,014	2.45
令和 6 年度 (前年度比)	243	8,796 (-1,263)	3,888	2.26	4,791 (+20)	1,944	2.46	6,492 (+ 1,705)	2,430	2.33	20,079 (+462)	8,262	2.43

利用実績「コミュニティタクシー」

年度	日数 (日)	渋沢駅・秦野赤十字病院ルート			おおね台ルート		
		利用者数 (人)	便数 (便)	1 便平均 (人/便)	利用者数 (人)	便数 (便)	1 便平均 (人/便)
平成27年度	243	17,277	4,617	3.74	16,630	4,374	3.80
令和元年度	240	15,423	4,560	3.38	16,654	4,320	3.86
令和 2 年度	243	10,453	4,617	2.26	13,619	4,374	3.11
令和 3 年度	242	11,726	4,598	2.55	14,166	4,356	3.25
令和 4 年度	243	12,738	4,617	2.76	15,304	4,374	3.50
令和 5 年度	243	13,965	4,617	3.02	16,135	4,374	3.69
令和 6 年度 (前年度比)	243	13,791 (-174)	4,617	2.99	15,628 (-507)	4,374	3.57

収支状況「上地区乗合自動車、コミュニティタクシー」

単位：円

	総収入												事業経費						
	事業収入									市補助金	事業者負担額	計	運行経費					その他経費	計
	運賃	回数券販売	定期券販売	広告収入	国庫補助金(フィーダー)	市運行継続支援金	県燃料高騰補助金	運行協力金	計				車両費	人件費	燃料費	その他	計		
平成27年度	5,869,900	7,062,800	0	187,920	3,333,000	0	0	0	16,453,620	6,231,000	617,220	23,301,840	5,614,812	10,646,176	2,704,140	3,615,162	22,580,290	721,550	23,301,840
令和元年度	5,473,550	6,009,000	8,400	144,000	3,894,000	0	0	0	15,528,950	8,512,000	1,427,122	25,468,072	7,086,684	11,123,639	3,103,025	3,540,674	24,854,022	614,050	25,468,072
令和2年度	4,194,750	4,690,500	0	192,000	3,347,000	3,500,000	0	0	15,924,250	8,766,000	1,547,128	26,237,378	7,219,884	12,334,373	2,783,467	3,426,904	25,764,628	472,750	26,237,378
令和3年度	4,945,800	5,212,500	0	192,000	4,712,000	200,000	0	0	15,262,300	9,883,000	2,168,703	27,314,003	7,714,933	12,116,834	3,441,983	3,511,903	26,785,653	528,350	27,314,003
令和4年度	4,048,900	5,705,380	0	192,000	2,906,000	1,350,000	175,000	0	14,377,280	10,532,000	3,158,064	28,067,344	7,374,713	12,919,197	3,654,022	3,463,004	27,410,936	656,408	28,067,344
令和5年度	4,179,400	6,192,000	75,000	192,000	1,905,000	0	0	0	12,543,400	11,466,000	4,044,356	28,053,756	7,421,980	12,638,237	3,996,018	3,370,471	27,426,706	627,050	28,053,756
令和6年度(前年度比)	4,279,950(+100,550)	6,051,000(-141,000)	0(-75,000)	72,000(-120,000)	2,900,000(+995,000)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	13,302,950(+759,550)	11,824,000(+358,000)	3,670,801(-373,555)	28,797,751(+743,995)	8,153,400(+731,420)	12,480,672(-157,565)	4,177,081(+181,063)	3,373,998(+3,527)	28,185,151(+758,445)	612,600(-14,450)	28,797,751(+743,995)

利用実績「デマンド型」

年度	稼働日数 (日)	渋沢駅エリア			栃窪・渋沢エリア			合計		
		利用者数 (人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)	利用者数 (人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)	利用者数 (人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)
平成27年度	71	34	33	1.03	73	68	1.07	107	101	1.06
令和元年度	149	156	149	1.05	206	188	1.10	362	337	1.07
令和2年度	88	64	63	1.02	110	94	1.17	174	157	1.11
令和3年度	84	72	72	1.00	92	89	1.03	164	161	1.02
令和4年度	99	77	77	1.00	113	111	1.02	190	188	1.01
令和5年度	109	69	69	1.00	128	124	1.03	197	193	1.02
令和6年度 (前年度比)	106 (-3)	61 (-8)	61	1.00	114 (-14)	111	1.03	175 (-22)	172	1.02

収支状況「デマンド型」

単位：円

	総収入				事業経費 (運行経費)
	運賃収入（現金）	市補助金	事業者負担額	計	
平成27年度	35,150	36,460	36,460	108,070	108,070
令和元年度	112,700	126,120	126,120	364,940	364,940
令和2年度	54,800	58,950	58,950	172,700	172,700
令和3年度	50,200	63,450	63,450	177,100	177,100
令和4年度	59,100	73,850	73,850	206,800	206,800
令和5年度	61,650	75,325	75,325	212,300	212,300
令和6度 (前年度比)	55,750 (-5,900)	75,325 (±0)	75,325 (±0)	206,400 (-5,900)	206,400 (-5,900)

乗合タクシー（路線固定型）の利用状況アンケート調査について

乗合タクシー（路線固定型）の課題・・・

→「利用者数の低迷」「収支状況の悪化」

⇒「いつ運行が立ち行かなくなってもおかしくない状況」

※「上地区乗合自動車、コミュニティタクシー共通の課題」



乗合タクシー（路線固定型）存続のため、
運行に関する見直し案を検討する必要がある。

見直し案検討のため、主に乗合タクシー沿線の
自治会を対象に利用実態把握を目的とした
アンケート調査を実施

⇒普段利用している方のみでなく、利用していない方の需要がどの程度あるかを把握するアンケート項目とした。



アンケート結果及び利用実績等を根拠とし、**存続に向けた見直し案を検討していく。**

乗合タクシー（路線固定型）の利用状況アンケート調査について

(参考) アンケート様式

コミュニティタクシー（渋沢駅・秦野赤十字病院ルート）

利用状況アンケート

コミュニティタクシーの利用実態調査のため、下記のアンケートにご協力ください。
※成人の方1名につき、1枚記入してください。
※コミュニティタクシーの運行は平日のみとなります。

所要時間：5分程度

■回答者情報

※□にチェックをしてください。

性別

☐ 男性 ☐ 女性

年齢

☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代
☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代 ☐ 90代以上

お住まいの自治会区

☐ 石打場 ☐ 北の沢南 ☐ 柳窪 ☐ 曲松新町 ☐ 新渋沢 ☐ 渋沢相互住宅
☐ 曲松第1 ☐ 曲松第2 ☐ 曲松第6 ☐ 曲松第7 ☐ 曲松第9 ☐ 曲松第10
☐ 千村第1 ☐ 千村第2 ☐ 千村第3 ☐ 千村第4 ☐ 千村第5 ☐ 千村第6 ☐ 千村台
☐ 渋沢上 ☐ 渋沢中 ☐ 渋沢下 ☐ 渋沢上窪 ☐ 渋沢中第1 ☐ 渋沢新光団地 ☐ 峠

問1

コミュニティタクシーの最寄り停留所はどこですか。

() ※別紙の時刻表の中から選び、() 内に記入してください。

問2

利用頻度はどの程度ですか。 ※□にチェックをしてください。

☐ ほぼ毎日 ☐ 週に2・3回程度 ☐ 週に1回程度 →問3、4、8を回答してください。
☐ 月に数回程度 ☐ 年に数回程度 ☐ ほとんど利用しない →問5、6、7、8を回答してください。

問3

よく利用する時間帯に○をつけてください。 ※複数回答可

	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
目的地へ向かう時											
自宅へ帰るとき											

問4

主な目的地はどこですか。また、目的地の最寄り停留所はどこですか。 ※複数回答可

種別 ※□にチェック	☐ 通院	☐ 買い物	☐ 通勤	☐ 通学	☐ その他
目的地の名称 例：(○○病院)、(スーパー○○)	()	()	()	()	()
目的地の最寄り停留所名 例：(秦野赤十字病院)、(渋沢駅南口)	()	()	()	()	()

問5

コミュニティタクシーを利用しない理由は何ですか。 ※複数回答可 ※□にチェックをしてください。

☐ 利用したい時間帯がない ☐ 行きたい目的地がない
☐ 自家用車等、別の交通手段を利用するため ☐ その他 ()

問6

何時にどの目的地に向かう便があれば利用しますか。(平日の場合)

・ () へ行くため、(午前・午後 時 分) に最寄りの停留所を出発する便

・ 自宅へ帰るため、(午前・午後 時 分) に最寄りの停留所に到着する便

(例)

・ (A病院／Bスーパー) へ行くため、(午前・午後 11時30分) に最寄りの停留所を出発する便

・ 自宅へ帰るため、(午前・午後 1時00分) に最寄りの停留所に到着する便

問7

問6の便が運行された場合、想定される利用頻度はどの程度ですか。 ※□にチェックをしてください。

☐ ほぼ毎日 ☐ 週に2・3回程度 ☐ 週に1回程度 ☐ 月に数回程度 ☐ 年に数回程度

問8

自由意見

以上となります。ご協力ありがとうございました。

○問い合わせ先：秦野市都市部交通住宅課公共交通担当（事務局）
電 話 0463-82-9644（直通）

アンケート結果の集約

①日常的な利用者が少ない

②時間帯によって利用需要の差がある。

→利用者の少ない時間帯については、運行の見直しも必要

③利用目的は「通院」、「買い物」が大半を占める。

→近くに病院やスーパーがないエリアが多い。

④利用しない理由の大半が、自家用車等を利用するため

→利便性の面からすれば、現在、自家用車を利用している方が、あえて乗合タクシーへ転換することは現実性がない。

⑤「停留所」や「ルート」の再編を求める意見が多い。

→特に買い物先（スーパー等）へ向かう便を求める意見が多い。

⇒利用実績等も踏まえ、利便性の向上に繋がる運行ルートやダイヤを検討する必要がある。

⑥乗合タクシーを知らなかった（ルートや時刻、乗り方等）という意見が多い。

→周知を強化する必要がある。周知により、利用者数の改善に繋がる可能性がある。

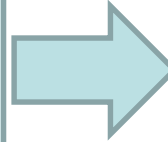
⑦免許変更後等の将来に対する不安から、運行継続を求める意見が多い。

→将来に向けて運行継続するためには収支の改善は必要不可欠

持続可能な公共交通としてあるべき姿

【前提条件】

- ・便数（乗車機会）が多ければ必ず利用が増える訳ではない。
- ・利用者の増加による収支改善は限定的。
- ・全ての時間帯を網羅するダイヤは続かない。



◎公共交通としての役割

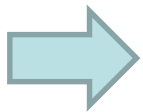
- ・出来るだけまとまって移動すべきもの（単に便数を増やしていくものではない。）
- ・地域全体で乗り支える意識が重要（可能な限り、生活を公共交通に合わせていく。）

【コンセプト】

◎日常生活における移動手段の確保

- ・近くに病院やスーパーがないエリアも多い。
- ・高齢化が進んでいる。（今後、免許返納者の増加が想定される。）

→買い物や通院の移動手段の確保が最優先



上記のコンセプトをもとに、「利用者数の増加」や「収支状況の改善」に向けた検討を開始していく。

今後のスケジュール

対象	取組内容
▶上地区乗合自動車	○上地区公共交通協議会において、見直し案について協議を重ねる。 ・「買い物」や「通院」における移動手段の確保を最優先にしたダイヤとする。 (※上小学校児童の通学の足は維持する。) ・利用率の低い停留所の統廃合を実施する。 ・将来的な車両の定員変更に対応可能なダイヤとする。(13人定員→9人定員) ○令和7年度中のダイヤ改正を目指す。 →今後、秦野市地域公共交通会議において、協議に諮る予定 ※運賃に係る協議が必要な場合は、別途「運賃協議部会」を開催
▶コミュニティタクシー (おおね台ルート)	○スーパーを通るルートの運行を目指す。 →アンケート結果でスーパーへ延伸してほしいという意見が多かったため。 ○令和7年度中に地域協議会の立ち上げ及び新ルートでの運行を目指す。 →今後、秦野市地域公共交通会議において、協議に諮る予定 ※運賃に係る協議が必要な場合は、別途「運賃協議部会」を開催
▶コミュニティタクシー (渋沢駅・秦野赤十字病院ルート)	○利用率向上のため、周知活動に注力する。 →アンケート結果により、他の乗合タクシーに比べ、認知度が低いことが判明したため。 ○令和7年度中に地域協議会の立ち上げを目指す。